

令和4年度 大山崎町商工会 経営発達支援計画 評価について

分類	項目	主な事業概要	評価	委員からのコメント
I 経営発達支援事業の内容	2 地域の経済動向調査に関する事	・小規模事業者等景況調査 ・乙訓地域商工会広域連携協議会による「小規模事業者景気動向調査」の実施及びHP公表	B	・アンケート回収に尽力されている。 ・調査数を増やして欲しい
	3 経営状況の分析に関する事	・事業計画作成相談窓口の実施 ・IT・販路開拓関連セミナーの開催 ・経営状況分析	B	・セミナーは当初予定の4回(実績3回)開催も可能だったのでは？
	4 事業計画策定支援に関する事	・事業計画作成支援 ・創業計画作成支援	B	・補助金活用のための事業計画作成が多い。本来の事業計画作成につながる対策が必要。
	5 事業計画策定後の実施支援に関する事	・事業計画等作成後のフォローアップ支援	A	創業希望者はいるが店舗物件が少なく創業につながりにくい状況は残念。
	6 需要動向調査に関する事	・個社の商品・サービスに対するアンケート調査 ・個社周辺の商圈調査・分析	C	・イベント等が減少している影響で個社の商品・サービスに対するアンケート調査は難しい面があった。 ・個社の商品・サービスについての調査分析数が少ないのは残念。
	7 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	・出展情報等の提供 ・物産店、展示会等の出店支援	C	・地域ブランドの確立に期待する。 ・目標数と実績数が乖離しているが、目標数値の設定が適正なのか？
	II 地域活性化	地域活性化に資する取り組み	・観光客増加に向けた取り組み ・地域イベントへの出店支援	C
III 支援力向上	1 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	京都府商工会連合会の各委員会 ・研究会及び京都府中小企業応援隊等を通じた支援ノウハウ等の情報交換	A	
	2 経営指導員等の支援力の向上の仕組み	・経営指導員向け研修会 ・専門家派遣同行等によるOJT実施	A	研修や専門家派遣等情報共有ができています。
	3 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	事業評価委員会を開催(中間・期末)事業の実施状況について評価・検証	B	

【総合評価】

- ・コロナ禍で実施が難しいものは次年度の目標設定に工夫が必要
- ・会員の満足度を図れる仕組みが必要
- ・コロナ禍という難しい環境の中、できる限りの事は実施できている
- ・アウトプットの成果は良好であるので、実利に繋がるよう引き続き支援を期待する